

ようこそ！図書館の展示へ 企画展ができるまで

特集 I

岩手県立図書館の4階展示コーナーでほぼ毎月1回のペースで開催している企画展は、当館の企画部門のスタッフ5名が中心となって運営しています。ここではその企画展の立案から開催に至るまでの流れについて、9月の企画展「いわてのタウン誌」を例にご紹介します。



枠や表示物の製作風景
曲がらないよう注意...



準備中の展示コーナー



資料を並べ、表示物を貼る。思ったとおりにいかないこともしばしば。



資料を並べ、表示物を貼る。思ったとおりにいかないこともしばしば。

展示のテーマとタイトルの決定

◎ 年間計画で決まっているテーマに沿って具体案をまとめます。所蔵資料に面白いものを見つけた時、ニュースや新聞で得た情報...そこから生まれたアイデアを、スタッフで意見を出し合い形にしていきます。

◇ 盛岡のタウン誌『街もりおか』が創刊40周年を迎えるという情報を得て、『街もりおか』を出版している社の都社と連絡を取り、編集長の斎藤五郎氏に協力を依頼。展示内容をまとめた企画書を基に、斎藤氏と打ち合わせを行い、「いわてのタウン誌」というタイトルと、趣旨・内容を下記のとおり決定。

タイトル:「いわてのタウン誌」

趣 旨:

岩手県内のタウン誌の先駆けである『街もりおか』の創刊40周年を記念し、これまでの歴史を振り返る展示と共に、県内で発行されているタウン誌を紹介することにより、県立図書館所蔵の郷土雑誌の利用促進を図る。

内 容:

* 『街もりおか』関連

表紙写真・挿絵原画の展示、創刊当時の編集者とその著書の紹介(特に岩手県立図書館も勤めた作家鈴木彦次郎氏をメインに)、名連載の紹介、著名人の寄稿文の紹介

* 県内タウン誌の紹介

県内でタウン誌を発行している出版社12社に自社タウン誌のコンセプトと「タウン誌とは?」という2つの質問に答えてもらい、そのコメントと共に創刊号もしくは所蔵の中で最も古い号を展示

* その他、タウン誌の説明、全国的なタウン誌の活動(タウン誌会議・NTTタウン誌フェスティバル)の紹介

関連イベント:『街もりおか』編集長斎藤五郎氏の講演会の開催

開催要項を作成⇒



展示資料を集める

◎ 計画が決定したら、その内容に合わせ所蔵資料の中から、また時には関連機関などに依頼して、展示資料を集めていきます。

- ◇ 県内タウン誌のバックナンバー、関連図書・新聞記事などを館内から集める。
- ◇ 斎藤氏に依頼し、表紙写真のネガや挿絵原画を借り受ける。
- ◇ タウン誌の出版社12社に電話・FAX・メールで連絡しコメントを依頼、原稿を集める。

※ この時出版各社に表紙画像とタイトルロゴのポスター・チラシへの掲載の利用の可否を確認。

企画展ポスターコレクション



特殊文庫Ⅱ
-野村胡堂の作品と
野村文庫-
期間: H19. 4. 1~4. 16
当館所蔵「野村文庫」
の紹介・補物小説を
中心に関連図書も展
示。



岡本楓子原画展
期間: H19. 4. 23~5. 27
こどもの読書週間
にあわせて開催。『こ
まったさん』シリー
ズなどの原画と共に
当館所蔵資料も展
示。



いわての歴史シリーズ1
絵図を描いた人々
-激動の時代を生きた
絵師たち-
期間: H19. 6. 1~6. 25
日頃利用や公開が困難
な当館所蔵の絵図を
紹介。岩手県立博物館
学芸調査員による講演
会も開催。

ポスター・チラシ・目録の作成

◎ 展示資料が集まったところで企画展の広報用ポスター・チラシと、展示資料目録の作成を行います。

- ◇ ポスター・チラシのデザインや掲載する文章を決め作成。
- ◇ 目録には資料名・著者名・出版者名・出版年・請求記号・貸出の可否などの情報を掲載。今回は表紙写真のタイトルや連載名の一覧や出版社のコメントも掲載。
- ◇ ポスター・チラシ・目録は、誤字・脱字のチェック後印刷。
- ◇ 作成したポスター・チラシは、各市町村図書館、県関係(県民会館、県立博物館、県立大学等)、報道機関、公民館、大学図書館、記念館、文化施設などに配布。今回はご協力いただいたタウン誌の出版社にも配布。
- ◇ 館内にポスターの掲示とチラシの設置。目録は開催期間中に配布。



〈目録〉

看板・表示物などの作成

◎ ここからは展示していくための下準備に入ります。展示をPRする大きな看板から展示資料1点1点につける小さな説明書まで、利用者の方に展示内容を理解してもらうための様々な表示物を作成します。また挿絵に取り付ける枠なども準備します。

- ◇ 表紙写真の画像データをスキャナを使ってパソコンに取り込みプリントアウト。
- ◇ 挿絵原画に付ける枠を作成。原画の大きさに合わせ専用カッターで台紙をカットする。
- ◇ 説明書き(キャプション)類は、見やすさ、わかりやすさに配慮しながら作成。

資料の展示・会場周辺の整備

◎ いよいよ展示会場での展示準備に入ります。あらかじめ作成しておいたレイアウトを基に、展示資料や表示物を並べていきます。

- ◇ 見る側の目線に配慮し、棚の高さや展示資料の角度を調整したり、表示物を貼っていく。
- ◇ 古い資料や借りた資料は取り扱いに注意しながら展示する。
- ◇ 並べ終わったら、ライトの調節。アンケートの記載台や看板を設置して会場を整える。
- ◇ 図書館の入口や館内の階段に展示コーナーへ誘導するポスターを掲示。

開催期間中・終了後

◎ 開催期間中は、新聞・テレビなどからの取材対応や、利用者の方からの問い合わせへの対応、展示会場の保全、目録やチラシの減り具合をチェックします。また、関連イベントがある場合は、来場者への配布物の作成、周知のための広報活動、講師の方との連絡調整、当日の会場整備などを行います。

◎ 企画展終了後は、アンケートの集計、報告書のまとめ、展示資料の撤去と返却、会場の掃除などをして次回の企画展に備えます。



後藤新平を知る
120冊
期間: H19. 6. 30~7. 25
後藤新平生誕150周年を
記念し、彼の功績と
関連図書を紹介。後
藤新平を取り上げた
番組の上映会も開催。



大正の雑誌展
期間: H19. 8. 1~8. 26
雑誌愛読月間にあ
わせ、当館所蔵の大
正時代の雑誌を、文
化や政治などのテーマ
別に紹介。



いわてのタウン誌
期間: H19. 9. 1~9. 26
創刊40周年を迎
える『街もりおか』
をはじめ、県内タ
ウン誌の紹介と関
連図書の展示。『
街もりおか』編
集長による講演
会も開催。



看板。右は斎藤五郎氏から寄贈された看板。



『街もりおか』の表紙写真をひきのばして展示。



美しい挿絵原画。劣化防止のため、ライトは暗めに設定。



目を引くように、かつ見やすいように展示。



説明書きや年表は、見る側に配慮。



手にとってみることのできる展示も設置。



左:新聞記事(マイクロ複製)はパネルへ。右:ガラス台をはずし壁面を広く使って展示。